

## 能勢町産等木材の利用推進に向けた課題の整理について

### ■課題について整理できたもの

ここで挙げている課題については、現時点でも一定の方向性により整理することが可能なものと考えられる。理由としては、大半が木材を利用する上で共通の課題であり、なおかつ一定の整理が国等によって、既になされているからである。また、能勢町産材の利用意義を除き、地域の実情に応じて対処法が変わる様なものでもない。能勢町産材の利用意義についても、既にガイドライン骨子案にて整理されている。

No.	旧課題No.	分類	小分類	課題点		対応(案)
1	1	①利用意義	1)能勢町産材	なぜ吹田市で能勢町産材を利用するのか。能勢町産材(地域材)に特化した利用意義を整理する必要がある。	→	地域循環共生圏の考え方をベースに、ガイドライン素案にて整理予定(P1)
2			2)一般的な内容	なぜ木材を利用するのか。動機づけのため、環境、経済、健康、教育等の様々な面から利用意義を整理する必要がある。	→	・国や自治体等の既存資料を基に、ガイドライン素案にて整理予定(P1~6) ・森林白書を参考に「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けた内容を追記(P1~2)
3	11、12	②設計・維持管理	1)品質確保上のポイント	一定の品質を担保するため、耐久性・断熱性・遮音性等を確保するための設計時の留意点について整理が必要である。	→	国や自治体等の既存資料を基に、ガイドライン素案にて整理予定(P41~45)
4			2)維持管理手法	木材を利用した建物の長期利用のために、維持管理上の留意点や工夫点について整理する必要がある。	→	国や自治体等の既存資料を基に、ガイドライン素案にて整理予定(P45~46)

### ■課題について検討会議でご意見をいただきたいもの

ここで挙げている課題については、どの様な方向性で整理していくのか議論が必要なものである。個々の地域の実情(供給能力、担い手の有無等)によって、どの様な対処が必要なのか異なるため、国や自治体の既存資料の整理だけでは不十分であるからである。地域の実情を踏まえた上で、どの様な対応が可能かについて、議論が必要である。下表に記載の議論点について、意見・参考事例・参考文献等をご教示頂きたい。

No.	旧課題No.	分類	小分類	課題点		議論点	主にご意見をいただきたい方
1	2、3	①木材品質	1)構造材	大阪府にJAS認定工場(構造材)がない(輸送コスト増要因)	→	地域還元のためには府内加工が望ましいが、府内にJAS認定工場を整備することは可能か?それが不可であれば、どの様な対応(近隣府県で加工等)が可能か?	大阪府森林組合 大阪府能勢町 大阪府みどり公社
2				能勢町産材の強度が不明	→	能勢町産材の強度を明確にできるか?また、大阪独自の強度管理材の規格を設ける事は可能か?	
3			2)内装材	能勢町産材の内装材への利用	→	JAS認定が必須でないことから、内装材であればどのような内装材であっても、能勢町産材を利用することができるのか?	

No.	旧課題No.	分類	小分類	課題点		議論点	主にご意見を いただきたい方
4		②木材調達	1)発注手法の確立	どのような産地指定であれば、工事発注の際に、能勢町産材（大阪府内産材）の供給を担保できるのか。	→	「能勢町産材をはじめとした府内産材」という表現で、仕様書に書くことで担保できるか？そうでなければ、どのように仕様書に記載すれば担保できると考えられるか？	五十田委員長 畑中副委員長 大阪府森林組合 吹田市資産経営室 吹田市総務予防室
5	4、5、6		2)調達方法	余裕をもって木材を確保するためには分離発注方式をとることが望ましいが、現実的ではない。一括発注方式をとる中で、どの様にすれば余裕をもった木材の確保が可能か。	→	分離発注以外に、余裕を持って木材を確保するためにどのような方法（例：木材の伐採時期に合わせた工期の設定等）があるのか？	五十田委員長 畑中副委員長 大阪府森林組合 吹田市資産経営室 吹田市総務予防室 大阪府みどり公社
6			3)供給の安定化	在庫をストックすることで、どの時期でも安定的に供給できる体制を整備する必要がある。	→	需要・供給側を含め、具体的にどのような条件（例：在庫施設の整備、一定量の需要の見通し等）が整えば、在庫のストックが可能になるのか？ 比較的在庫のストックがしやすい内装材について、品質、寸法の規格化を行い、ストックすることは可能か？	大阪府森林組合 能勢町
7		③木材情報	1)能勢町産材の情報	価格、種類、量が不明		発注者向けのPR資料として、能勢町産材等の価格、種類、量についての具体的な情報をカタログの様な形で整理することが可能か？	大阪府森林組合 能勢町
8	7、8			能勢町産材と大阪府内産材で価格差はないものの、他の国産材と比較すると割高である。	→	少しでも国産材の価格に近付けるため、どのような取組が可能か？ 構造材、内装材ともに能勢町産材と大阪府内産材で価格差はないことを整理することは可能か？また、特注品とならないようにするにはどのようにすればよいか？ （例：内装材として使用する能勢町産材の品質、寸法の規格化を行い、在庫としてストックする等）	大阪府森林組合 能勢町

No.	旧課題No.	分類	小分類	課題点		議論点	主にご意見を いただきたい方			
9	9、10	④人材等	1) 人材、相談窓口	構造材等の木材使用量が多い場合に木材コーディネーターが必要となる場合がある。	→	能勢町産材（大阪府内産材）の木材コーディネーターを担える者はいるのか？ 大阪府みどり公社が、コーディネーターとなることは可能か？もしくは、大阪府が、大阪府内産材の円滑な調達に向けたプラットフォームの構築等の府全体での連携に取り組むことは可能か？	畑中副委員長 大阪府 大阪府みどり公社			
10						どの物件に木材コーディネーターの関与が必要か、事業発注前に判断を行う上で、その基準をどう設定するか？	五十田委員長 畑中副委員長 大阪府森林組合 吹田市資産経営室 吹田市総務予防室 大阪府みどり公社			
11						2) 設計者選定	プロポーザル方式についてはガイドライン素案P20～21にて、一定の整理を行っているが、評価項目、審査委員選定等の細部方針は確立が必要である。	→	どのような内容を評価し設計者を選定すれば、地域材の調達や利用をスムーズに行うことができるか？ 内部委員（庁内）や外部委員等の審査委員について、どのような者を選定することが適切か？	五十田委員長 畑中副委員長 吹田市資産経営室 吹田市総務予防室
12						3) ターゲットとするべき施設	木材利用を推進する一定のターゲットの設定が必要。	→	市有施設を分類、延床面積、築年数等により整理したグラフを参考に、今後木材利用を推進していくべき建物を決定することは可能か？	吹田市資産経営室

### 【各課題の位置づけ】

		解決可能な課題		解決が難しい課題	
木材 使用 量	「多」	②木材調達 ④人材等（人材、相談窓口） ④人材等（設計者選定）	②木材調達	①木材品質（構造材）	①木材品質（内装材）
	「少」	③木材情報 ④人材等（ターゲット施設）	③木材情報 ④人材等（ターゲット施設）		
		構造材	内装材	構造材	内装材

この図からは以下の2点が示唆される。

- ・内装材の方が課題が少なく、取り組みやすい。
- ・木材使用量が少ない方が課題が少なく、取り組みやすい。

⇒大規模な木材利用が難しい施設であっても、少ない量から、内装材からの利用を探ることで、少しでも木材利用に繋げることができる。